

令和5年度 事業報告書

社会福祉法人 いなべ市社会福祉協議会

法人経営部門

【総務課】

1. 会務の運営

<理事会>

	開催日	議 案 内 容
第 8 1 回	6 月 5 日	給与規程の一部変更、事務局規程の一部変更、資金の積立て、令和 4 年度事業報告、令和 4 年度社会福祉事業会計および公益事業会計決算、令和 5 年度社会福祉事業会計および公益事業会計第 1 次補正予算、役員選任候補者の推薦、評議員選任候補者の推薦、第 6 9 回評議員会の開催
第 8 2 回	6 月 2 0 日	会長、副会長及び常務理事の選任
第 8 3 回	1 1 月 1 5 日	定款の一部変更、パートタイム職員就業規則の一部変更、積立金の取り崩し、令和 5 年度社会福祉事業会計および公益事業会計第 2 次補正予算、第 7 0 回評議員会の開催
第 8 4 回	3 月 8 日	定款の一部変更、給与規程の一部変更、育児・介護休業等に関する規則の一部変更、令和 5 年度社会福祉事業会計および公益事業会計第 3 次補正予算、令和 6 年度事業計画、令和 6 年度社会福祉事業会計および公益事業会計予算、評議員選任候補者の推薦、福祉サービス苦情・要望改善事業第三者委員の委嘱、評議員選任・解任委員の選任、第 7 1 回評議員会の開催、令和 6 年役員等賠償責任保険契約の更新、令和 6 年度利益相反契約

<評議員会>

	開催日	議 案 内 容
第 6 9 回	6 月 2 0 日	令和 4 年度事業報告、令和 4 年度社会福祉事業会計および公益事業会計決算、令和 5 年度社会福祉事業会計および公益事業会計第 1 次補正予算、役員の選任
第 7 0 回	1 1 月 2 1 日	定款の一部変更、令和 5 年度社会福祉事業会計および公益事業会計第 2 次補正予算
第 7 1 回	3 月 1 9 日	定款の一部変更、令和 5 年度社会福祉事業会計および公益事業会計第 3 次補正予算、令和 6 年度事業計画、令和 6 年度社会福祉事業会計および公益事業会計予算

<評議員選任・解任委員会>

	開催日	議 案 内 容
第 1 2 回	6 月 1 3 日	評議員の選任 1 名
第 1 3 回	3 月 1 4 日	評議員の選任 1 名

2. 事業運営の透明化

法人運営の透明性を確保するために、社会福祉法に定める定款、計算書類および事業報告、役員等名簿について、主たる事務所に備え置いた。また、ホームページにも社会福祉法に定める事業計画書等の必要書類を掲載した。

3. 財務規律の強化

適正かつ公正な支出管理のために、監事による月例監査を6回、決算監査（令和5年5月12日）を実施した。また、内部監査を5回実施し、監事による監査のみならず、職員による内部監査を実施することにより、健全な財務状況が確保できるよう強化を行った。

4. 福祉サービス苦情・要望改善事業

苦情要望件数 16件

福祉サービス苦情・要望改善事業第三者委員会を開催し、助言を求めるとともに再発防止について協議を行った。苦情が発生した際は、迅速かつ丁寧な対応をおこない、利用者の権利擁護、満足度の向上に努めた。

5. 職員の資質向上（職員研修事業等）と人材育成

職員研修基本方針に基づき、下記のとおり研修を実施した。

<全体研修>

法人が目指す職員像に基づき、職員育成を目的として実施した。

研修テーマ	実施日	参加数
接遇・苦情要望対応研修	10月13日	31名
健康管理研修	2月14日	20名
交通安全研修	3月11日	16名

<部門別研修>

各部署の業務に必要とされる知識、技術の習得を目的として実施した。

①地域福祉課

研修テーマ	実施日	参加数
地域福祉活動計画に関する研修	9月4日	7名
住民主体の地域福祉に関する研修	12月5日	8名

②地域生活支援課

研修テーマ	実施日	参加数
相談支援研修	8月17日	16名
事例検討会	9月12日	15名
発達障害研修	11月25日	25名
参加・活動に焦点を当てたアセスメント研修	12月6日	26名
事例検討会	3月12日	14名

③ケアプランセンター

研修テーマ	実施日	参加数
ケアプラン作成・アセスメント研修	6月13日	12名

④通所介護事業

研修テーマ	実施日	参加数
認知症ケア研修	4月27日	11名
食中毒・感染症研修	6月22日	9名
応急手当・救命処置	7月20日	5名
虐待・身体拘束防止研修	9月28日	7名
リスクマネジメント研修	10月26日	5名
医療に関する研修	11月30日	9名
接遇研修	2月22日	11名

⑤訪問介護事業

研修テーマ	実施日	参加数
接遇研修	6月27日	10名
食中毒・感染症研修	7月25日	12名
虐待防止研修	9月26日	10名
身体拘束防止研修	10月31日	8名
認知症ケア研修	1月30日	10名
法令遵守研修	2月27日	5名

⑥介護予防事業

研修テーマ	実施日	参加数
機能評価に関する研修	8月25日	7名
栄養に関する研修	9月29日	6名
応急手当・救命措置	10月27日	6名

⑦障がい支援課

研修テーマ	実施日	参加数
感染症予防研修	7月29日	8名
虐待・身体拘束防止研修	10月30日	9名
障がいへの基礎知識研修	1月31日	13名
応急手当・救命措置	3月6日	12名

⑧こども支援課

研修テーマ	実施日	参加数
発達支援・実技研修	5月24日	73名
野外保育研修	6月8日	122名
年齢別研修	7月18日	71名
人権（LGBT）研修	8月24日	72名
食育研修	9月13日	9名
年齢別保育研修	11月8日	90名

6. 各種規程の適正管理

いなべ市から旧たんぼぼ作業所を無償譲渡されたことに伴い、基本財産の変更として定款の変更をおこなった。パートタイム職員に休職、復職の規定がなかったため規則に明記した。職員間での給与格差、最低賃金の改定状況等に鑑み給与表を見直した。育児短時間勤務の取得条件を5歳から小学校の始期までに引き上げた。

また、緊急時に事業継続を図るための業務継続計画（BCP）について、自然災害及び感染症の流行に対応する計画を策定した。

7. 職員の健康管理・衛生管理事業

安全衛生委員会 2回（6月、2月開催） 安全推進会 15ヶ所 月1回開催
各職場で、安全推進会および職場巡視を毎月実施し労働災害防止に努めた。

産業医とともに毎月1ヶ所ずつ事業所の巡視を行った。

乗車前点検の徹底と今年度車両事故を起こした職員を対象に交通安全研修を実施するなど、車両事故の削減に努めた。

安全運転管理者設置事業所（5事業所）ではアルコールチェッカーを用いて乗車前後に確認を行った。

安全衛生法に基づく、ストレスチェックの実施

受検者220名 受診率92.8%

ストレスチェック実施後、高ストレス者の産業医・保健師面談を行った。

健康診断受診職員数（8月～9月実施） 237名 受診率100%

健康診断受診結果による健康相談（産業医） 0名

健康診断受診結果による保健指導（保健師） 3名

健康診断受診結果をもとに再検査等の受診を促し、早期治療につなげることで職員の健康管理をおこなった。

職員健康相談（保健師および産業医）

月1回開催 延べ利用者数 26名

心身の健康維持、回復へとつながることができた。

8. 実習生、職場体験等の受入れ

実習・体験目的	受け入れ先	受け入れ数
保育士実習	丹生川保育園、三里保育園、山郷保育園、員弁西保育園	11名
職場体験 (インターンシップ)	丹生川保育園、石樽保育園	11名
現場実習	オレンジ工房あげき	4名

9. 広報活動の充実

社協だより 発行回数 6 回（奇数月） 各戸配布

社協事業場のほか、市内商業施設、公共施設にも配置している。

Facebook 投稿件数 108 件 X（旧 twitter）投稿件数 64 件

Instagram 投稿件数 96 件 プレスリリース発信件数 4 件

10. ネットワーク環境の整備・活用

オンライン会議など、IT 環境の整備やグループウェアを活用して事務処理および情報共有の効率化をはかった。

11. 連携・協働の場としての役割

市内 9 社会福祉法人が参加する、いなべ市社会福祉法人連絡会の事務局を担い、複数法人の協働による地域の公益的な取り組みをおこなった。

いなべ市社会福祉法人連絡会活動

	開催日	内 容
総会	7 月 8 日	令和 4 年度事業報告（案）について 令和 5 年度事業計画（案）について
勉強会	7 月 8 日	県内における社会福祉法人連絡会の取り組み、活動について
UMOU プロジェクト	通年	各施設に回収 BOX を設置し、ホームページ等で啓発

12. 職員状況

正規職員		その他	
令和 4 年度	令和 5 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
134 名	140 名	202 名	207 名

地域福祉活動推進部門

【地域福祉課】

《第4次いなべ市地域福祉活動計画の推進》

(1) 第4次いなべ市地域福祉計画および地域福祉活動計画推進委員会 3回

(2) 社会福祉協議会における出前講座の実施

テーマ名	出前回数
足腰を鍛えて、介護予防を目指そう	11回
フレイル予防	9回
認知症予防レクリエーション	8回
知っておきたい物忘れ	3回
介護予防・健康・これからの暮らし方について	2回
いなべ市社会福祉協議会について	1回
介護保険の利用について	1回
障がい者サービスについて	1回
健康と園芸指導	1回

<まちづくり・人づくり>

1. ボランティアセンター事業

- ・ボランティア相談件数 26件、コーディネート件数 4件
- ・ボランティア登録数 1,838名
- ・ボランティアセンターだよりの発行(7月)
- ・傾聴フォローアップ講座 1回 参加者数 25名
- ・いなべふくし塾 2回 延べ参加者数 38名
- ・いなべ市ボランティア連絡協議会
 - 加入団体 16団体 加入者 6名(令和6年3月末現在)
 - 定例会 12回 延べ参加者数 104名
 - 清掃活動等 2回 延べ参加者数 59名
- ・食品ロス削減に向けた取り組み 6回
 - 寄附 1,905キロ 提供 233セット
- ・地域食堂の開催支援 6回 延べ参加者 330名

2. 各種サポーター活動支援

サロンサポーター、地域サポーター合同定例会

- (1) 対象者401名を対象に案内を送付し、当日参加者86名に対して情報交換やサロン活動紹介、いなべ市主催移動型スマホ教室について紹介を行った。
- (2) 四季の家
 - ・定例会 11回
 - ・地区別開催 藤原22回(延べ参加者数501名)
員弁24回(延べ参加者数313名)
大安23回(延べ参加者数338名)

北勢 20 回（延べ参加者数 340 名）

3. 福祉教育推進事業

福祉体験の実施：ワークショップ 3 時限、アイマスク体験 4 時限、当事者講義
（視覚障がい） 20 時限、当事者講義（聴覚障がい・手話体験）
18 時限、車いす体験 11 時限、点字体験 16 時限、認知症サ
ポーター養成講座 8 時限、SSピンポン 3 時限、盲導犬 4 時限
福祉協力校の登録：市内小学校 11 校、中学校 4 校、高校 1 校

4. 共同募金事業

令和 5 年度 募金総額 5,662,681 円

5. 日本赤十字社社資増強運動

令和 5 年度 総額 5,288,000 円

6. 社協会費募集実績総額 5,778,000 円

（内訳）

個人会員 9,877 件

賛助会員（個人） 257 件

賛助会員（法人） 116 件

<ネットワークづくり>

1. ふれあいサロン事業

【ふれあいサロン】 実施回数 410 回 延べ参加人数 13,845 名

北勢： 113 回 3,738 名 員弁：99 回 2,879 名

大安： 103 回 4,626 名 藤原：95 回 2,602 名

【ふれあい訪問活動】 実施回数 55 回 延べ参加人数 3,328 名

北勢： 21 回 1,194 名 員弁： 0 回 0 名

大安： 11 回 1,326 名 藤原：23 回 808 名

2. 障がい者スポーツ交流会の開催 参加者数 175 名

3. 生活交流会事業

知的障がい者生活交流会 4 回 延べ参加者数 46 名

知的・精神障がい者生活交流会 2 回 延べ参加者数 27 名

4. 敬老事業（いなべ市委託事業）

祝品贈呈 喜寿 694 名 米寿 280 名 白寿 23 名 百歳 23 名

最高齢者 2 名

5. 災害ボランティアセンター事業

- ・災害等に関する講演会 1回
延べ参加者数 71名 登録者数 42名
- ・災害ボランティアコーディネーター定例会 6回 延べ参加者数 28名
- ・災害ボランティアセンター設置運営訓練 1回 参加者 11名

6. 各種団体事務局業務

(1) 民生委員児童委員協議会連合会

	事業内容
いなべ市	役員会、部会・総会、全員研修、県民児協主催行事（理事会・協議員会・在宅福祉委員会・会長研修会・主任児童委員研修会・新任民生委員研修会・ブロック別研修会・民生委員制度創設100周年記念フォーラム）への参加、主任児童委員会（定例会・勉強会）、ホームページ運営、もしもの時のSOSカード配布
北勢地区	定例会、部会、ふれあい弁当配布、夏季友愛訪問、視察研修
員弁地区	定例会、部会、ふれあい弁当配布、夏季友愛訪問、登校時の見守り支援、視察研修
大安地区	定例会、部会、ふれあい弁当配布、民生児童委員の日強化週間活動、夏季友愛訪問、視察研修
藤原地区	定例会、部会、ふれあい弁当配布、夏季友愛訪問、一人暮らし・高齢者等世帯訪問連絡票作成、高齢者施設交流事業（花植え）、視察研修

(2) いなべ市老人クラブ連合会

事業内容
役員会、支部会、総会、老人福祉大会、趣味の作品展、ゴルフ交流会、健康づくり講演会、芸能大会、カラーリング体験教室、役員研修会・交流会、友愛訪問活動、世代間交流助成事業、イラスト教室、ゴルフ交流会、パソコン教室、陶芸教室、料理教室、専門部活動（ゲートボール、囲碁・将棋、ウォーキング、グラウンドゴルフ、パークゴルフ、カラオケ、社交ダンス、フォークダンス、野球、民謡、麻雀）

(3) いなべ市身体障がい者福祉会

事業内容
役員会、総会（書面議決）、広報発行1回、障がい者週間PR活動、会員交流会、社会見学

7. 心配ごと相談の実施

相談種類	開所回数	実績
一般相談	6回	3件
弁護士相談	20回	114件

相談種類	開所回数	実 績
司法書士相談	8 回	3 8 件

8. ふれあい弁当配布事業

登録者数 2 6 1 名 実施回数 7 2 回 延べ配布件数 4, 4 0 5 件

9. 外出支援・移送サービス事業

登録者数 4 7 名

新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業休止

10. 福祉用具貸与事業

物 品	延べ貸与件数
車イス	1 3 4 件
スロープ	4 件

11. おむつ給付事業（いなべ市委託事業）

給付対象者 1 1 3 名 年間給付件数 1, 3 6 7 件

12. 緊急通報装置設置事業（いなべ市委託事業）

業 者	件 数
A L S O K あんしんケアサポート	3 件
N T T 西日本	1 件

13. 寝具洗濯サービス事業（いなべ市委託事業）

登録者数 1 1 名 延べ利用件数 1 7 件

14. 訪問理容サービス事業（いなべ市委託事業）

登録者数 1 1 名 延べ利用件数 6 件

15. 福祉サービス利用審査会

新規サービス申請者の利用決定における審査会 1 2 回開催 審査件数 3 5 件

16. 共同募金配分金

令和4年度（令和5年度充当） 配分交付決定額 5, 1 2 6, 8 1 8 円

配分金事業

老人福祉活動（2事業）

- ・地域におでかけ事業 申請者数 2 3 9 名 協力店舗 1 6 店舗
- ・あんしん電話事業 登録者数 1 1 名 実施回数 4 7 回

母子・父子福祉活動事業（1事業）

- ・ひとり親家庭支援事業 助成人数 1 名

福祉育成援助活動（４事業）

- ・歳末ふれあい事業 配布者数 1, 139名
- ・ふるさとづくり公園整備助成事業 申請 9地区
- ・スポーツふれあい事業 参加者数 20名
- ・ボランティア団体助成事業 助成団体数 24団体
- ・共同募金啓発事業
独自啓発グッズ（テープのり）の対象者配布（令和6年新生330名）
共同募金 募金箱作成 参加者数 11名

<安心な環境づくり>

いなべ市生活支援体制整備事業（生活支援コーディネーター）（いなべ市委託事業）

いなべ市共助の基盤づくり事業

- （１） 1. 5層協議体 開催回数46回 延べ参加者数440名
（北勢町12回 115名、員弁町12回 95名、大安町11回 147名、
藤原町11回 83名）
- （２）福祉委員会
 - ・福祉委員会設置自治会数 71地区
 - ・相談支援中および次年度活動予定自治会数 29地区 相談回数 延べ111回
 - ・福祉委員会交流会84名参加（65地区）
 - ・生きがい活動促進事業「ひなた」 活動者5名、新規登録者数0名

相談支援・権利擁護部門

【地域生活支援課】

（いなべ市地域包括支援センター）（いなべ市委託事業）

1. 包括的支援事業

（１）総合相談支援事業

総合相談

延べ相談件数 3, 573件

民生委員児童委員との連携

民生委員児童委員からの相談及び連絡調整件数 177件

民生委員児童委員協議会定例会参加回数 48回（4地域）

（２）権利擁護事業

高齢者虐待（身体・心理的虐待等）対応内容（重複有）件数 19件

（うち、虐待と認められた件数 12件）

（３）包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

ケアマネジメント支援会議 3回

地域密着介護保険施設等運営推進会議への出席 22回

ケアプラン点検 6回

民生委員児童委員とケアマネジャーの連携研修会4地区に実施

桑員支部介護支援専門員研修委託回数 7回

市内医療機関等関係機関への訪問

病院連携会議等の開催

医療ソーシャルワーカーとケアマネジャーの意見交換会 1回

地域支援ケース会議 29回

ケアマネジャーの後方支援（相談支援）件数 606件

ケアマネ通信の発信（随時）

包括通信 4回

（４）介護予防ケアマネジメント事業

介護予防支援・介護予防ケアマネジメント給付管理延べ件数

包括（直接）1,547件 委託 581件

（５）いなべ市もの忘れ初期集中支援チーム事業

チーム専門職（チーム医、認知症地域支援推進員、チーム員等）が協働し
認知症の早期診断・早期治療に向けた包括的・集中的な支援を行った。

チーム員会議 10回 うち、支援検討ケース 63件

チーム員対応件数（訪問・来所等） 465件

（６）認知症相談支援体制整備事業（新規事業）

MC I（軽度認知障害）や軽度認定症の方に対し、早期に生活への介入を行い、
重度化を防止することを目的として、病院やかかりつけ医との相談連携体制の
構築に向けて取り組んだ。

いなべ総合病院との打ち合わせ 5回

かかりつけ医訪問 5医院

（杉山医院、桑原医院、羽場内科クリニック、萩原クリニック、斎藤医院）

認知症疾患センター（東員病院）との連携WEB会議 12回

認知症相談会へアドバイザーとしての参加 9回

（７）多機関協働事業（新規事業）

重層的支援体制整備事業の充実を目指し、地域の専門職や支援機関との連携体
制の構築に取り組んだ。

お互いの業務内容を知り、連携の現状と課題について共通認識を図った。

主な連携先：元気クラブいなべ、いなべ暮らしの保健室

2. 任意事業

（１）高齢者見守りネットワーク事業

通報件数 24件

認知症高齢者等SOSネットワーク

協力団体届出件数 363団体

事前登録者数 53名

（２）介護予防等普及啓発事業

出前講座 参加者数 222名／6回

広報 社協だよりにて地域における高齢者関連活動紹介の掲載回数 6回

(いなべ日常生活自立支援センター) (県社協委託事業)

1. 日常生活自立支援事業

利用者(契約者) 52名 延べ相談支援件数 883件

2. 生活福祉資金

教育支援資金 1件(新規受付数)

3. 小口生活資金貸付 15件

(いなべ市成年後見支援センター) (いなべ市委託事業)

1. 広報機能(成年後見制度の周知・啓発)

- ・いなべ市広報誌Linkへの記事掲載 1回
- ・いなべ市広報誌Linkへの挟み込みチラシ 1回
- ・いなべ市民成年後見制度勉強会
「漫才で笑って学ぶ成年後見」開催 1回
- ・支援者向け成年後見制度の「活用ハンドブック」の作成

2. 相談機能(権利擁護が必要な方の早期発見・早期対応)

窓口相談 新規相談 44ケース 継続相談 14ケース
司法書士による専門相談 5回(12ケース)

3. いなべ市成年後見支援センター運営委員会の運営(受任調整、申立の判断等)

いなべ市成年後見支援センター運営委員会の開催 4回

4. 法人後見事業

法人後見委員会 5回
受任件数 2件

5. 令和5年度成年後見制度利用促進市町支援事業 モデル市町として受託

(いなべ市くらしサポートセンター縁) (いなべ市委託事業)

1. 生活困窮者自立支援事業

自立相談支援事業 相談件数 107件 プラン作成総数 18件
就労支援対象者(プラン期間中に一般就労を目標にしている) 11名
家計改善支援事業 3件
就労準備支援事業 4件
住居確保給付金 1件

2. 被保護者就労支援事業

延べ就労支援件数 56件

3. 被保護者就労準備支援事業

延べ就労準備支援件数 25件

4. 生活保護体制整備強化事業

初回面談件数 27件

5. 生活つなぎ支援事業 7件

6. みえ福祉の「わ」創造事業

生活困窮者支援緊急食糧提供事業 42件

緊急時物品等支援事業 5件

【障がい支援課】

(相談支援事業所)

1. 障害児・者相談支援事業（いなべ市委託事業）

（1）いなべ市より、障がい児・者の総合相談事業を受託し、福祉サービス利用援助、情報の提供等必要な支援を総合的に行った。

相談支援を行った人数 179名（障がい者116名、障がい児63名）

（2）困難ケースに対応するため、必要に応じて、保健・医療・福祉・教育・就労等、関係機関と連携して支援を行った。

延べ件数 1,244件 関係機関との連携回数 156回

2. 障がいプラン作成業務

障害者総合支援法に基づく計画相談支援事業を実施した。

（1）日々の業務や定例会のなかでケースの情報共有を行い、利用者が地域生活を送れるよう、支援方法について検討し、サービス等利用計画の作成を行った。

（2）相談支援従事者現任研修や強度行動障がい支援者養成研修に参加し、地域の障がい者等の意向に基づく地域生活を実現させるために必要な保健、医療、福祉、就労、教育などのサービスの総合的かつ適切な利用支援等の援助技術の習得を図り、相談支援事業所のスキルアップを図った。

（3）ケースの支援を行いながら、出てきた課題に対して、いなべ市自立支援協議会相談支援部会などで関係機関に協議し、いなべ市全体の課題として捉えてもらうようにした。

（4）生活課題の内容に応じて、障害者雇用、障害年金、生活困窮者支援、成年後見制度等、関係機関と連携して支援を行った。

計画相談支援 年間請求件数 468件

障害児相談支援 年間請求件数 174件

介護・生活支援サービス部門

【介護支援課】

(居宅介護支援事業所)

1. ケアマネジメントの質の向上への取り組み

事業所内の質の標準化を図るため、主任ケアマネジャーによる職員への助言や指導等の育成に努め、事業所内の質の平準化に努めた。また、市内の居宅介護支援事業所や包括支援センターと定期的な勉強会を開催し地域に必要な資源や課題について意見交換を行うなど、連携強化を図った。

2. 介護予防プラン作成業務

包括支援センターと連携を常に図り、必要な支援への対応を行った。

介護保険（予防）年間作成件数 268件

契約件数 29件

3. 関係機関との連携強化

新型コロナウイルス感染症が5類へ移行となり、一部制限があるものの医療機関へ訪問し情報の共有や連携を図れた。加えてオンラインでの情報交換も継続し、ハイブリット方式での連携を図ることができた。

4. ケアプラン（居宅サービス計画書）の作成

(1) 特定事業所加算（Ⅰ）（Ⅱ）取得事業所

(2) 介護保険年間請求延べ件数 3,946件

契約件数 414件

5. 資質向上のため研修会開催・参加について

(1) 週1回の業務会議開催（毎週水曜定期開催） 48回

(2) いなべ市地域包括支援センター主催研修会等 9回

(3) 三重県介護支援専門員協会桑員支部・県主催研修 12回

(4) 疾患に関する専門的研修 3回

6. 総合相談の受付・福祉サービス調整業務

電話・来所等 164件

7. 主任介護支援専門員活動内容

(1) いなべ市介護保険ケアプラン点検の立会い 2回

(2) いなべ市居宅介護支援事業所連絡会の運営（勉強会も含む） 9回

(3) 三重県介護支援専門員研修指導 6回

(地域密着型通所介護事業所・介護予防日常生活支援総合事業第1号通所事業所)

1. 通所介護事業所としての質の向上

会議や部門別研修を定期的実施したことで、職員の資質向上に繋がられた。また、多職種間での情報共有が行え、利用者一人ひとりに対し、より良いサービス提供に努められた。

2. 関係機関・地域との連携強化

タイムリーな情報共有を行えるよう、電話やメール、医療・介護連携ネットワーク等を活用し連携強化に努めた。

3. 健全な事業運営への創意工夫

利用者が自身の課題に対し、関係機関と連携を図りながら取り組むことで、在宅生活を継続することができるよう、できる限り柔軟な対応・受け入れに努めた。また、事業運営の効率化・経営改善が少しでも図れるよう、職員の動きの見直しや記録業務の簡素化にも取り組んだ。

4. 日中一時支援事業（いなべ市委託事業）

契約者数 1名 延べ利用者数 0名

5. ふじわらデイサービスセンター事業別利用実績

事業	定員	契約者数	介護度別	延べ利用者数
介護	18名	36名	要介護1 14名	4,020名
			要介護2 11名	
			要介護3 6名	
			要介護4 3名	
			要介護5 2名	
総合		3名	要支援1 1名	126名
			要支援2 2名	

6. デイボランティア活動

ふじわらデイ 延べ活動者数 29名

(訪問介護事業所・介護予防日常生活支援総合事業第1号訪問事業所)

(障害者総合支援法 居宅介護サービス事業所)

1. 事業所としての質の向上

コロナ禍であっても感染対策を取りながら定期的な会議や研修会をほぼ実施することができ、職員間の連携も強化することができた。

それにより、介護の専門的な目線を確保することで、より良いサービスにつながられた。

2. 訪問介護の専門性の向上

利用者が何を求めているのか的確に把握し、生活全般の状況の改善に取り組んだ。
また、アセスメント力を更に磨き、その結果、個別性を尊重し、専門的な視点で計画をたて、確かな知識と根拠に基づく技術の提供を行うことができた。

3. 関係機関との連携強化

多職種協働で介護サービスをより良いものとし、利用者の日常生活行為や社会関係の回復・拡大、医療的ケア、心理的な支援、介護の相談・指導、地域へのアプローチを行うために、会議やMC Sを活用し、連絡を密にすることで情報共有・交換を行った。

4. 安定した事業運営（経営）への創意工夫

I C T化による業務の効率化を図るため、3社（ソフト会社）のデモンストレーションを受け、現在使用しているソフトとの比較をおこなった。

5. 障害児（者）移動支援事業（いなべ市委託事業）

契約者数 25名 延べ件数 225件

6. 福祉有償運送事業

	登録者数	延べ件数
身体障害者	7名	254件
要介護認定者	13名	255件
要支援認定者	0名	0件
精神障害者	0名	0件
知的障害者	1名	20件

<地区別会員数>

北勢	5名
員弁	4名
大安	8名
藤原	4名

7. 介護保険訪問介護事業実績

（介護）	契約者数	76名	延べ件数	9,170件
（総合事業）	契約者数	10名	延べ件数	685件

8. 障がい訪問介護事業実績

（居宅介護）	契約者数	37名	延べ件数	3,356件
（同行援護）	契約者数	8名	延べ件数	200件

(介護予防事業) (いなべ市委託事業)

1. 一般介護予防事業

地域介護予防活動促進の実施

(1)運動コース

登録者数 93名 延べ利用者数 1,701名

(2)いろいろコース

登録者数 107名 (前期:69名 後期:38名)

延べ利用者数 1,072名 (前期:679名 後期:393名)

(3)健康づくり(介護予防)セミナー

実施回数 12回 参加者総数 274名

(4)出張型介護予防啓発

・介護予防啓発

実施回数 24回 参加者総数 653名

・青空ひろば(催し物)

実施回数 15回 参加者総数 240名

※4月・10月は2回開催

2. いなべ市介護予防・生活支援サービス事業

通所型短期集中予防サービスC

(1)はつらつ教室 2ヶ所(藤原・員弁)

登録者数 35名 延べ利用者数 1,059名

(2)はつらつクラブの開催支援

実施団体 9団体

会員総数 94名 総支援回数 91回

3. 介護予防啓発イベントの開催

開催回数 1回『健幸フェスタ in ふじわら』

参加者数 87名

(介護支援課共通)

感染症や災害時に対する対策への取り組み

利用者・職員に対し、手洗いや消毒等を徹底しながら感染予防に努め、感染状況の場面に応じた必要な感染対策を取りながら業務継続を行った。

【障がい支援課】

(就労継続支援B型・生活介護・短期入所事業)

1. 利用者への充実した支援の提供

(1)初めて行う作業にも挑戦する姿勢を大切にし、最後まで成し遂げることで達成感を味わい、やりがいにつながるよう作業の提供を行った。

(2)就労に必要な技術のみならず、社会性を得るための支援も行った。

- (3) 生活介護の利用者には、作業活動の他に散歩や体操、創作など個別での活動を提供した。
- (4) 利用者で希望する方には、看護師による機能訓練の他、誰もが楽しく取り組める内容の運動を提供した。
- (5) 利用者の将来の生活を支えるため、短期入所を計画的に利用していただき、楽しく過ごしていただくよう支援を行った。延べ利用者数、利用登録者数は昨年度より増加した。

2. 職員の質の向上

- (1) 利用者の障がい特性に応じ、責任ある態度で支援に努めた。
- (2) 利用者および保護者への対応は、懇切丁寧に行うよう努めることはできたが、コミュニケーション能力や相談技術の向上につながる研修までは至らなかった。
- (3) 報告・連絡・相談を密に行うことで職員間の信頼関係を構築し、利用者ニーズに即した支援を行うため、職員間の連携を強化し、チームワークの向上に努めた。
- (4) 強度行動障害基礎研修の受講や課内研修で障害福祉サービスについての研修会、身体拘束廃止に向けた取り組みなど研修の機会を設け、職員の質の向上に向けた取り組みを行った。

3. 利用者の作業と工賃の充実

- (1) 工場の停止や減産などで作業を提供できない日もあったが、下請け作業に代わる自主製品の製作・販売を行った。
- (2) 企業へ作業量の増加について依頼を行い、新しい作業につなぐことができた。
- (3) オレンジ工房あげき工賃支給要綱に基づき、適切な支給を行った。
- (4) 新型コロナウイルスの影響や半導体不足の影響により、企業からの下請け作業が減ったため、工賃の向上までは至らず、例年並みの支給となった。

4. 関係機関等との連携強化

- (1) 関係機関との会議には積極的に参加し連携の強化に努め、また個別支援計画を見直すことで、利用者ニーズの把握に努めた。
- (2) 相談支援事業所との連携を密に行い、利用者ニーズの把握及び支援につなげた。
- (3) 藤原地区障がい児者を守る会の施設見学、メシエレいなべ出前講座の開催、北勢中学校1年生の班別分散学習、北勢・藤原中学校2年生の職場体験の受け入れを行い、地域に開かれた施設運営を行った。

5. 安定した運営（経営）と選んでもらえる事業所になるための工夫

- (1) 無駄な残業はせず、常にコスト意識を持つことに努めた。また、祝日の開所を行い、家族の負担軽減につなげた。

- (2) 特別支援学校の実習を積極的に受け入れ、くわな特別支援学校中学部3年生1名、高等部1年生1名、2年生1名、3年生2名を受け入れた。
- (3) 実習生には、障がいの特性に応じた活動を提供し、活動内容を積極的にアピールすることで、学校卒業後の進路希望につながった。
- (4) 加算に必要な研修を受講することにより、加算取得対象職員を増やすことができた。

6. 感染症対策を徹底した事業所運営

- (1) 毎日の業務終了後、施設内の机、椅子、手すり等の消毒を徹底した。
- (2) 利用者は通所時と午後の1日2回の検温、手洗い、手指消毒を徹底した。
職員は、県の無料PCR検査の活用と、事業所で購入した抗原検査キットを活用し、感染予防、感染拡大防止に努めた。
- (3) 感染対策マニュアルを作成し、マニュアルに沿った事業所運営を行った。
- (4) 利用者、職員でコロナウイルス陽性者が相次ぎ発生したが、利用者家族の協力を得て、家族送迎に切り替える等、拡大防止に努めた。

7. 障がい者虐待防止のさらなる推進と身体拘束の適正化

虐待防止委員会 2回

虐待防止・身体拘束防止研修 2回

8. 障がい者グループホーム事業開設に向けた検討

- (1) グループホーム開設に向け、社会福祉法人運営のグループホームの視察を行い、情報収集に努めた。
- (2) 日中活動の運営を行いながら、夜間の支援体制など配置等に関する検討の場を設けた。
- (3) グループホームの開設に向け、新規に職員を採用し人材の育成に努めた。

9. 延長利用サービス

利用者数 5名 延べ利用者数 7名

10. 日中一時支援事業（いなべ市委託事業）

利用者数 5名 延べ利用者数 27名

11. 地域活動支援センター（いなべ市委託事業）

訓練対象者 前期1名 後期1名

延べ訓練回数 84回

訓練内容（回数） 調理（28回）、掃除（56回）、洗濯、洗濯たたみ（56回）

指導員情報交換会 12回

12. 利用者数（実績）

就労継続支援B型

利用者数 22名 延べ利用者数 4,194名

生活介護

利用者数 28名 延べ利用者数 5,501名

短期入所

延べ利用者数 139名

保育事業部門

【こども支援課】

1. 入所園児数

保育園名	定員	入所園児数 [令和6年3月末現在]						
		0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
石樽保育園	140名	3名	9名	15名	24名	31名	31名	113名
三里保育園	90名	—	—	6名	22名	28名	23名	79名
丹生川保育園	50名	3名	7名	10名	11名	11名	11名	53名
山郷保育園	120名	3名	11名	12名	31名	31名	40名	128名
員弁西保育園	150名	6名	13名	12名	54名	27名	34名	146名

2. 保育園の主な活動

(1) 令和5年度は、前年度に続き、感染予防対策を意識した行事の継続

生活の中で節目となる行事の実施 入園式（4月）、卒園式（3月）

季節を感じ、伝統行事の実施

なつまつり（7月）、運動会（10月）、クリスマス会（12月）、

節分豆まき（2月）

(2) 子どもたちが主体的になれる行事の実施

園児の仲間づくりを意識した行事

遠足（春・秋）

野外活動のなかでの経験

竹林の散策・タケノコ掘り（春）

川へ出向いて、水遊び（夏）

森林の広場や園庭で、子どもたちが火おこしなど役割分担を決め、焼き

芋・味噌汁・おでん・だいこんもち・黒豆ご飯などを作る。（秋～冬）

3. 一時預かり事業（いなべ市委託事業）

保護者の病気、家族の看護や介護その他事由により家庭において保育を受けることが一時的に困難となった児童の一時的な保育の実施

石樽保育園 利用延べ人数 5名 利用延べ日数 13日

三里保育園 利用延べ人数 1名 利用延べ日数 1日

丹生川保育園	利用延べ人数	2名	利用延べ日数	3日
山郷保育園	利用延べ人数	6名	利用延べ日数	24日
員弁西保育園	利用延べ人数	2名	利用延べ日数	2日

4. 障がい児保育事業の充実（いなべ市委託事業）

公立保育園に保育士を派遣し、障がい児保育の理解を深めた。

ほくせい保育園	3名	治田保育園	2名	員弁東保育園	4名
笠間保育園	5名	ふじわら保育園	7名		

5. 子育て支援センター事業（いなべ市委託事業）

新型コロナウイルス感染予防対策を意識した事業の実施

おもちゃを載せた車両（おでかけGO）を持参し、地域の公園で遊べる日の実施

石榑子育て支援センター	3回	延べ	44名参加
北勢子育て支援センター	7回	延べ	89名参加
員弁子育て支援センター	9回	延べ	169名参加
笠間子育て支援センター	3回	延べ	49名参加
藤原子育て支援センター	2回	延べ	16名参加

利用対象者（市内に住所を有する親子）、利用時間（1組90分）の制限を設けるなど、安心してセンターを利用してもらえる工夫を行った。

午後は1歳おめでとう訪問などの訪問活動を中心にした事業の実施

開所日数と利用者数

区 分	石榑子育て支援センター		北勢子育て支援センター		員弁子育て支援センター	
年間開所日数	242日		243日		244日	
対 象	延べ 利用者数	内新規 利用者数	延べ 利用者数	内新規 利用者数	延べ 利用者数	内新規 利用者数
～12ヶ月	95名	34名	193名	40名	362名	35名
0歳児	659名	57名	1,579名	59名	1,015名	56名
1歳児	915名	14名	1,242名	26名	1,035名	26名
2歳児	724名	8名	1,021名	13名	704名	18名
3歳児以上	2名	0名	16名	1名	22名	0名
保護者	2,105名	79名	3,174名	154名	2,663名	131名
合計	4,500名	192名	7,225名	293名	5,801名	266名

区 分	笠間子育て支援センター		藤原子育て支援センター	
年間開所日数	253日		243日	
対 象	延べ 利用者数	内新規 利用者数	延べ 利用者数	内新規 利用者数
～12ヶ月	311名	50名	117名	15名
0歳児	1,114名	59名	459名	28名
1歳児	1,328名	28名	664名	10名
2歳児	938名	10名	222名	8名
3歳児以上	7名	0名	2名	0名
保護者	3,122名	130名	1,412名	61名
合計	6,820名	277名	2,876名	122名

※～12ヶ月：R5.4.2～R6.4.1生 0歳児：R4.4.2～R5.4.1生

訪問事業（年間実績件数）

	石樽子育て支援センター	北勢子育て支援センター	員弁子育て支援センター
1歳おめでとう訪問	50件	90件	82件
ブックスタート	55件	69件	73件
ブック・Reスタート	62件	87件	72件
	笠間子育て支援センター	藤原子育て支援センター	
1歳おめでとう訪問	81件	22件	
ブックスタート	81件	13件	
ブック・Reスタート	81件	30件	

相談事業（年間実績件数）

	石樽子育て支援センター	北勢子育て支援センター	員弁子育て支援センター
面接相談	86件	47件	199件
電話相談	2件	1件	0件
訪問相談	1件	0件	0件
	笠間子育て支援センター	藤原子育て支援センター	
面接相談	57件	44件	
電話相談	0件	1件	
訪問相談	0件	9件	

